

(要領第5の2(1)関係)  
(様式3)個別箇所評価シート

建設部 砂防課

分野	砂防施設整備		事業番号	8	事業名	砂防(通常砂防)						
市町村名	上田市	ふりがな 箇所名	わてまわ 上手沢		べっしょ 別所	事業年度 (完了年度は見込み)	H25	年度～	H28	年度		
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)						
	全体	砂防堰堤工 1基 砂防堰堤 H=11.5m L=50m			200,000	国庫	100,000	その他	県債	90,000	一般財源	10,000
	H25年度	測量・設計・調査 1式			10,000	5,000			4,500	500		
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価			ランク	評点				
	必要性 (30)	保全対象人家	■ 10戸以上		□ 1～9戸		□ 0戸		A	10		
		保全対象公共施設	■ 2箇所以上		□ 1箇所		□ なし			8		
		保全対象に要援護者施設があるか	■ 重要施設有り		□ 一般施設有り		□ なし			10		
		保全対象に避難所、避難経路があるか	■ あり		□ なし					2		
		小計								30		
	重要性 (15)	過去の災害履歴	□ 過去20年に1回以上		□ 災害履歴地		■ なし		B	0		
		交通遮断による地域経済などへの影響	■ 大		□ 中		□ 小			5		
		防災計画上の位置づけ	■ あり		□ なし					5		
		小計								10		
	効率性 (15)	費用対効果(B/C)	■ B/C1.5以上		□ B/C1.0以上1.5未満		□ B/C1.0未満		A	10		
		早期発現度	■ 5年未満		□ 5年以上10年未満		□ 10年以上			4		
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)	□ 検討あり		■ 検討なし		□			0		
		小計								14		
	緊急性 (25)	地質・地形の状況	□ 地質が脆弱かつ地すべり地形		■ 地質が脆弱		□ その他		A	5		
		植生の状況	□ 無林地や倒木が多い		■ 放置林		□ その他			3		
		平均渓床勾配	■ 10度以上		□ 2度以上10度未満		□ 2度未満			7		
		土砂整備率	■ 0%		□ 0%より大50%未満		□ 50%以上			7		
		小計								22		
	計画 熟度 (15)	地域からの要望	□ 強い要望がある		■ それほど高くない		□ 特に要望ない		B	3		
		地元の協力	□ 協力が得られる		■ 概ね協力が得られる		□ 現時点で得られていない			5		
		小計								8		
	費用対効果(B/C)		49.21		評価の合計			A	84			
	事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成18年7月の梅雨前線豪雨により山腹崩壊及び溪岸浸食が著しく、この際生産された不安定土砂が溪流に厚く堆積している。この影響により溪流の荒廃は著しく、渓床勾配も1/5と急であり今後これらの土砂が土石流化して人家、老人福祉施設に甚大な被害を与える恐れがあるため、えん堤工により災害を未然に防止する。									
		地域からの要望経緯	上田市で作成したハザードマップにおいて、本溪流が土砂災害危険溪流となっていることから、本溪流への対策について要望がある。年間降水量の少ない上小地域では、土砂災害対策への注意が気薄となっているため、地区の活発な動きは現状ではない。									
事業説明等の経緯		地区役員へ災害の経緯についてヒアリングを行うと共に、本沢の危険性について説明を行う。										
環境・景観への配慮項目		砂防えん堤は、観光地である別所温泉から景観を損ねない位置を検討する。										
他事業・プロジェクトとの関連		特になし。										
特記事項		H24 土砂災害防止法指定。										
地域の合意形成	□ 全員賛成		■ 概ね賛成		□ 過半数賛成		□ 動向不明					
部意見	当流域は荒廃状況が進んでおり、次期降雨による、土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には災害時要援護者施設、公民館が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。				行政改革課 意見	必要性が高く、緊急性も認められる。						